

大平研図書管理システムの設計

作成日 10 月 20 日

氏名

大東誠弥

岡坂亮汰

野口耕二郎

吉富楓雅

1. 課題

現在、明らかになっている課題は次のとおりである。

- (1) 大平先生が本を貸し出した際に、いつ、誰に貸し出したかが分からなくなっている。
- (2) ユーザがどの本が貸し出されているかわからない状況になっている。

2. 目的

大平先生の本の貸し出し状況が明確になることを目的として、図書管理システムを導入する

3. 機能概要

機能として、ユーザ画面設計と大平先生用管理画面の 2 つに分ける.

- ・『ユーザ画面』

- 1.本を借りる

- ・借りる人の情報を入力する. これについては大学のメールアドレスを用いることとする.

- ・借りたい本の検索をする.

- ・検索結果に貸し出し状況を表示させる.本が誰かに借りられていない場合,「借りる」ボタンから本を借りることができる.

- ・貸し出し完了画面を表示させる.

大平研 図書管理システム

借りたい本を検索します

学内のメールアドレスを入力してください

ログイン

リセット

※現在は上記の入力フォームではログインできないため、[ここ](#)からログインしてください。

今日のお魚



2.本の貸し出し画面

- ・ 誰が何を借りているのかを一覧で表示させる.借りられている本のタイトルと氏名を表示させる.

貸し出し一覧

本のタイトル	借りている人	貸出日
プログラミングA	aaa	9/21
プログラミングB	bbb	9/22
プログラミングC	ccc	9/23
プログラミングD	ddd	9/24

3.本を返す

- ・ 返す人の情報を入力する.これについては大学のメールアドレスを用いることとする.
- ・ 「返す」 ボタンから、借りている本を返却する.
- ・ 返却完了画面を表示させる.

4. ユーザの登録をする

ユーザをあらかじめデータベースに登録させることで, 貸し出し,返却の際の作業をスムーズにする.

- ・ ユーザ情報の新規登録を行う.名簿データベースを作成し,保管する.ユーザの大学メールアドレスを,登録するユーザ情報として利用する.
- ・ ユーザ登録完了画面を表示させる.

- ・ 『大平先生用管理画面』

- ・ ログイン画面, ログアウト画面を表示させる.
- ・ 貸し出し状況について、ユーザが何を借りているのかを一

覧で表示する.



ユーザー名:

パスワード:

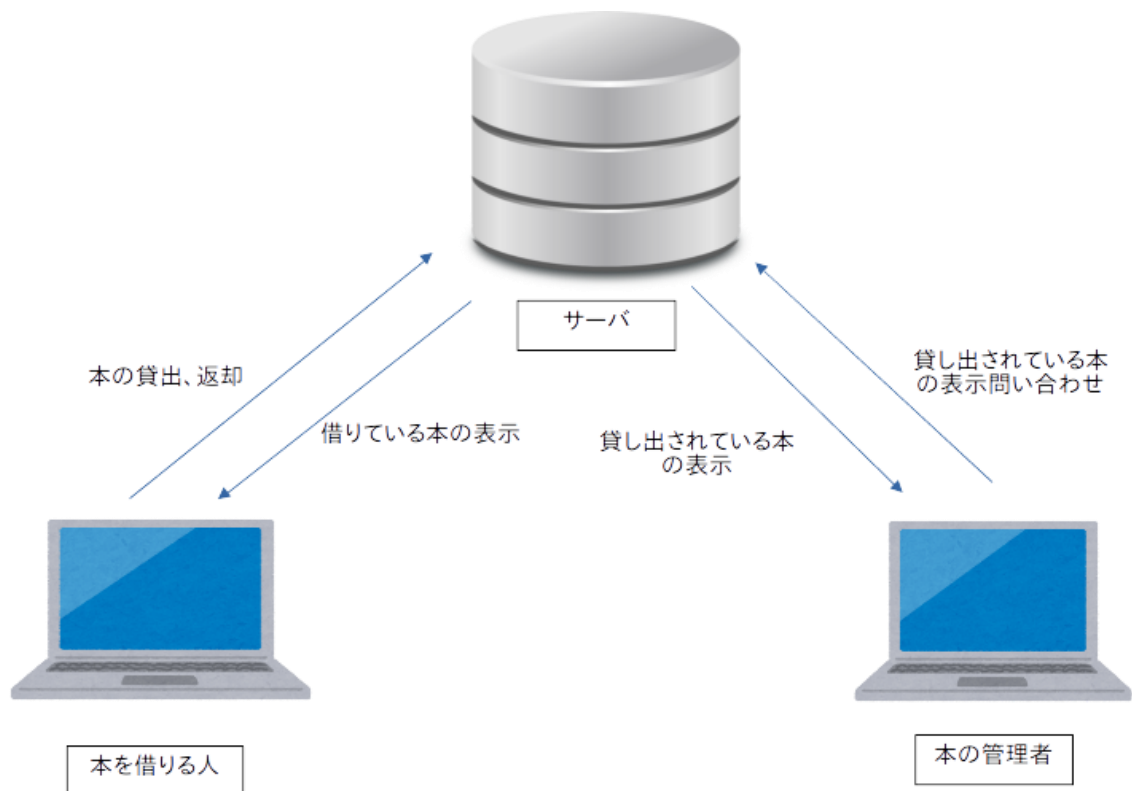
ログイン

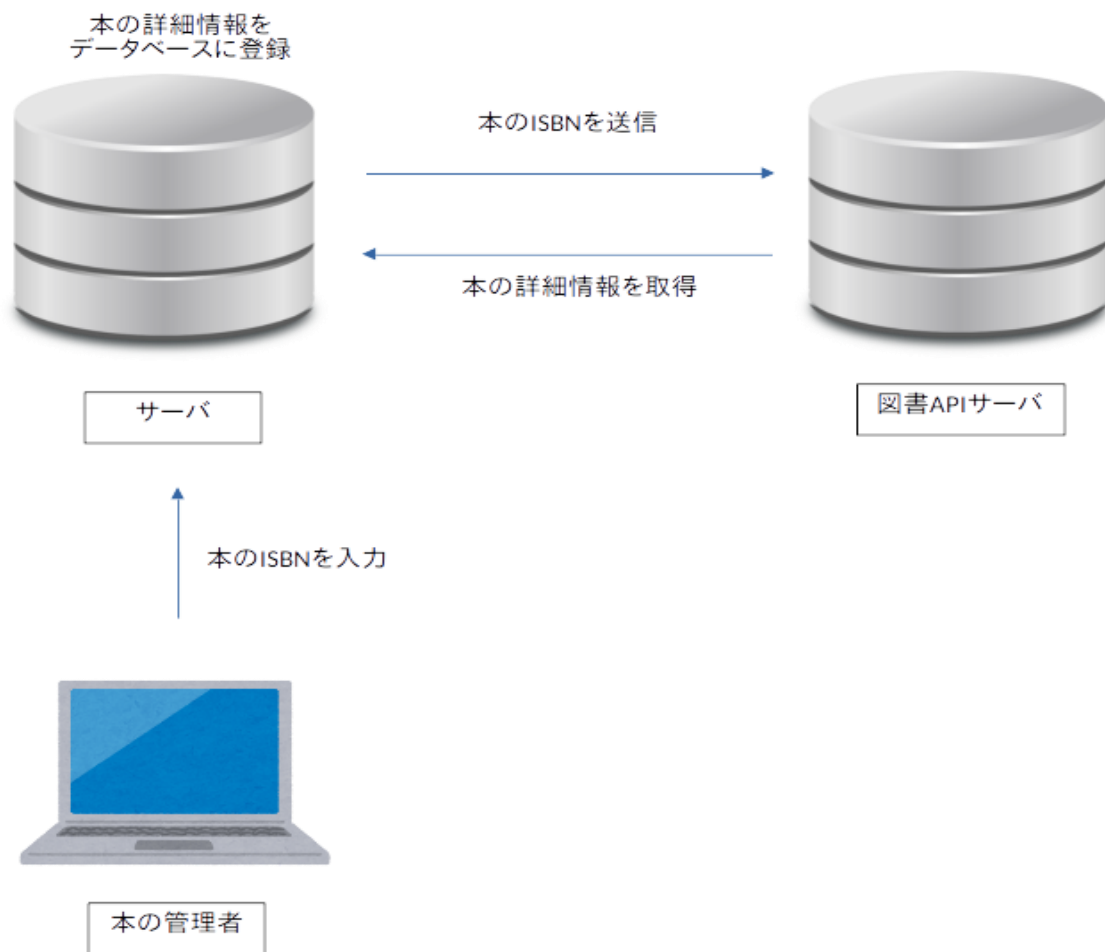
- ・返却の催促通知を行う.

5. 想定される利用者

大平研究室の学生, および大平先生

6. 情報の流れ





7. システム構成

ユーザ用と大平先生用のシステムを構築させる。ユーザ用では貸し出し，一覧，返却の 3 種類の画面を用意する。大平先生用では一覧を表示させる画面を用意する。

8. 開発スケジュール

11 月 システム設計

12 月 テスト

1 月 始動

9. アピールポイント

- ・ ISBN で登録すると処理が楽になる.
- ・ ログイン画面を作成することで, 個人で管理できる.
- ・ トップ画面に魚を表示させる.